

前田黙鳳 まへだけり 書家。嘉永六年二月十七日播磨國龍野生れ、大正七年十一月十九日没（八三三—一九一八）。諱圓、字土方。別號黙鳳道人、龍竺人。明治六年上京、小野湖山、中林格竹、巖谷一六等と交遊。十五年鳳文館を創立して「鳳文韻府」の綴刻等、善るも、漢學袁浪の影寫を受け創産。閉業の際して贈られた知友の詩文書畫を刻して「黙鳳帖」

(明治二十一年六月私家版)を作つた。のち書學會を興して雜誌「書聲」を創刊。また碑版法帖を輯印するほど斯道を致す。四十一年健筆會を組織して毎年書畫家刻の展覽會を開いた。

著作書「可東亞新中」(明治二十七年五月十九日博文館)、「可樂志論」

附著法帖書畫「(明治四十一年一月十七日七條徳刊)等。